

連載 - 第3回 - *Recommended by the president*

経営者のおすすめをご紹介します

社長のRecommend

Pick Up! 今月はおすすめの風景をご紹介します

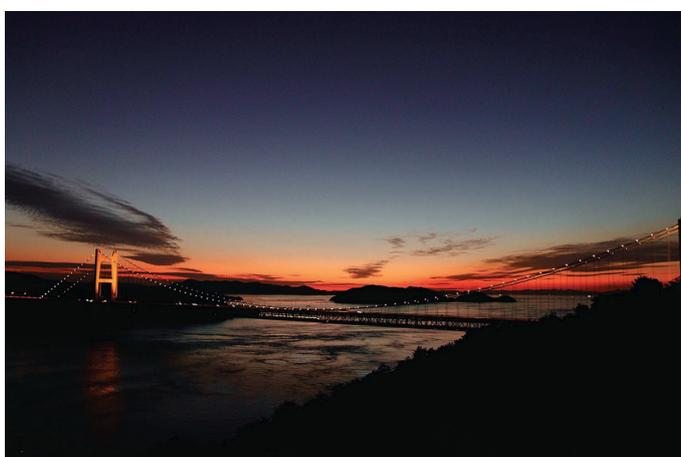
●今月のご紹介者

廣瀬製紙 株式会社 代表取締役社長 岡田 祥司 氏



『瀬戸大橋からの夕方の瀬戸内海』

岡山県倉敷市・香川県坂出市



鷺羽山から撮影した夕方の電車が通る瀬戸大橋（協会職員提供）

【概要】

瀬戸大橋は、本州の岡山県倉敷市と四国の香川県坂出市を結ぶ6つの橋梁からなりたちます。瀬戸内海をまたぐ本州四国連絡橋の児島・坂出ルートにあたり、橋の大部分は香川県に属します。1988年に全線開通し、それにより初めて四国と本州が陸路で結ばれました。

橋には道路と鉄道が通り、鉄道道路併用橋としては世界最長で「世界一長い鉄道道路併用橋」としてギネス世界記録（2015年）にも認定されています。2017年に日本の20世紀遺産に選定されました。

Q1

どんなシチュエーションでそこへ行かれたか

まだ、以前勤めていた茨城県の会社（非鉄金属製造業）で働いていた2004年の6月、広島への出張のあと、週末に両親の実家である高知に足を延ばしました。当時は、人生に一度あるかというくらい大きなプロジェクトを5月に無事終え、達成感と安堵で心身ともに満ち足りた時期でした。

その日は、広島での仕事を終えて、岡山駅から南風（岡山—高知の特急）に乗りました。丁度夕焼けの時間帯に電車で瀬戸内海を渡りました。夕焼けが反射した瀬戸内海と沈む太陽を見ながら、東日本ではなかなか見られない南国のリゾート地にいるような感覚でした。

その後、高知では、がんで寝たきりになっている祖父のお見舞いをしました。最終日の家を出る直前に2年以上声の出なかった祖父が、最後の力を振り絞り、私に話しかけてくれました。亡くなったの

は、その2週間後です。その思いも感じ、現在の仕事をするきっかけになった旅でした。

Q2

これからそこへ行こうとする方へのアドバイス

私は辛いとき、あそこで見た太陽の光で新しく正しい道に導かれたと振り返ります。人生で迷い、転機の決断をするときは、普段と違う環境でしてはいかがでしょうか。ここは、天気や時間帯の影響があるので、ハードルは高いですが、車も含めて調整して、是非、挑戦して下さい!! 幸運を祈ります。

廣瀬製紙 株式会社



本社：高知県土佐市高岡町丙529番地1

資本金：2,000万円

従業員数：160名

事業内容：機能性繊維による工業を中心とした産業用（湿式）不織布の製造、加工並びに販売

ホームページ：<https://www.hirose-paper-mfg.co.jp/>